東日本大震災の影響，家計にも色濃く
～平成23年水戸市の家計調査結果から～

茨城県企画部統計課　物価家計グループ

家計調査は，昭和21年から実施されている大変歴史のある調査であり，家計収支の実態を把握し，国の経済政策，社会政策の立案の基礎資料を得ることを目的としております。

調査世帯数は，全国約9,000世帯で，茨城県内においても毎月156世帯の方に御協力いただき，調査が行われています。家計調査結果は，国内総生産（GDP）の５割以上を占める個人消費の動向を判断する主要な指標として位置づけられており，日本経済の状況をみる上で非常に注目されています。

平成23年家計調査の都道府県庁所在市別ランキングを基に，水戸市民の全国的な位置と特徴をみてみました。

1　水戸市の調査客体

水戸市の二人以上の調査世帯数は毎月96世帯で，各世帯には半年間継続して家計簿を記入していただいております。平成23年の調査世帯の状況は世帯人員2.90人（全国：3.08人），有業人員1.21人（全国：1.33人），世帯主の年齢58.5歳（全国：56.8歳），持家率76.6%（全国：78.9%），家賃支払世帯割合22.4%（全国：19.7%）となっており，全国平均並みであることがうかがえます。

2　年間消費支出額は，約354万円で全国17位

平成23年の水戸市の１世帯当たり年間消費支出額は3,538,309円で，全国17位です。平成22年の消費支出額が3,823,595円（全国７位）でしたので，285,286円（7.5%）減少しています。

平成23年の全国の動きをみても，3月以降は連続で対前年同月はマイナスで推移し，前年に比べ実質2.2%の減少となりました。これは，東日本大震災の影響により，供給制約が生じた自動車などの自動車等関係費が減少したほか，自粛ムードにより旅行などの教養娯楽サービスが減少したことや，電力不足に伴う節電意識の高まりなどから電気代などの光熱・水道が減少したことによります。

〔平成23年消費支出額上位３市及び近県の順位（都道府県庁所在市別）〕

＊全国平均　3,395,456円							
１位	横浜市	3,873,580円	２位	高松市	3,819,678円	３位	さいたま市 3,814,058円
５位	東京都区部	3,763,815円	７位	宇都宮市	3,639,066円	19位	千葉市 3,517,297円
23位	前橋市	3,431,447円					

3　消費の特徴

◇震災後の生活再建のための支出増加

水戸市において，東日本大震災により消費行動に影響が見られた項目として，まず際立っているのが住居の設備修繕です。

外壁・塀等工事費は全国１位で，1世帯当たり年間消費支出額は132,282円で，全国平均の6.9倍，対前年比で240%増となっております。修繕材料は全国５位（年間消費支出額10,000円，全国平均の1.9倍），給排水関係工事費は全国６位（年間消費支出額15,167円，全国平均の1.4倍）と，住宅修繕のた

めの支出が上位にランキングしております。

また，震災の影響は「食」にも見られます。

震災発生後，防災意識の高まりから，全国的に飲料水や保存食などへの支出が増加しました。水戸市では，粉ミルクが全国３位（年間消費支出額1,886円，全国平均の2.6倍），ミネラルウォーターが全国４位（年間消費支出額4,781円，全国平均の1.5倍），カップめんが全国５位（年間消費支出額4,348円，全国平均の1.3倍）など，前年との比較で下表のとおり支出額は増加し，全国順位は上昇しています。

その他，電池も全国３位（年間消費支出額2,627円，全国平均の1.3倍）と支出が増加しました。

〔東日本大震災により水戸市民の消費行動に影響が見られた項目〕

	外壁・塀等工事	修繕材料	給排水関係工事	粉ミルク	ミネラルウォーター	カップめん	電池
平成23年	132,282円 （全国1位）	10,000円 （全国5位）	15,167円 （全国6位）	1,886円 （全国3位）	4,781円 （全国4位）	4,348円 （全国5位）	2,627円 （全国3位）
平成22年	38,914円 （全国5位）	3,587円 （全国13位）	2,228円 （全国35位）	1,207円 （全国12位）	3,292円 （全国6位）	3,369円 （全国14位）	1,884円 （全国10位）

※（　）は都道府県庁所在市別ランキング

◇本県の特産物「メロン」「納豆」「しじみ」の消費支出ランキングわずかに後退

毎年のように全国トップクラスに入ってくる本県の特産品メロン，納豆，しじみは，前年より支出が減少し，ランキングも僅かに後退しました。

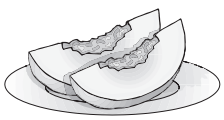
メロンの１世帯当たり年間消費支出額は4,490円（全国平均の3.4倍）で，毎年トップ争いをしていた札幌市に875円及ばず，全国２位の結果となりましたが，購入数量については27,946gで，全国１位，全国平均の11倍となっております。

納豆の１世帯当たり年間消費支出額は5,029円（全国平均の1.5倍）で全国４位，しじみは，年間消費支出額は1,061円（全国平均の2.4倍）で全国４位となりました。

一方，平成23年において支出が増加したのは，かつおです。１世帯当たり年間消費支出額は4,211円（全国平均の2.9倍）で全国２位でした。

家計調査の結果からは，それぞれの地域における消費の特徴がみてとれます。仙台の「かまぼこ」・宇都宮の「いちご」・横浜の「しゅうまい」・鳥取の「なし」・長崎の「カステラ」などは年間消費支出額日本一となっており，消費者の嗜好，特に食生活には土地柄が表れています。

〔参考〕近県の年間購入量又は年間消費支出額が全国上位の品目（平成21～23年の３カ年平均）

水戸市	メロン，しょう油，納豆	福島市	もも，納豆，りんご，卵
宇都宮市	ぎょうざ，だいこん，いちご	東京都区部	ワイン，チーズ，トマト
前橋市	乳酸菌飲料，きゅうり，グレープフルーツ	横浜市	しゅうまい，ジャム，キウィフルーツ
千葉市	トマト，干しのり，バナナ		

このように，家計調査の結果をみると皆さんから集められた統計データは，大変貴重な資料となっていることが実感できます。今後も家計調査へのご協力をお願いします。